（提出先）研究推進社会連携機構ＫＧＢＰＣ事務局　kgbpc@kwansei.ac.jp 150514

ＫＧアイデアコンテスト（５月）応募用紙

2015年　5月　27日

応募用紙２ページ（表裏）で構成されています

学部:

学生番号

メール

アイデア名

“日本食フェア with 関学米”

アイデアを思い付いたきっかけ　[具体的に記してください]

このアイデアを思いついたきっかけは実際に中芝に行った際に、広大な緑色の芝生と舗装された道が田んぼの風景のように見え、中芝の一部で関学生が主体となって米の栽培とそれを用いてのイベント（和食フェア）を開催する案を思いつきました。また現在、ゼミ活動で日本酒振興プロジェクトを進めているので、米から日本酒に発展させることはできないかという観点からも考えてみました。

アイデアの概要　[具体的に記してください]

1. 関学芝生利用の現状（問題点）

広大な面積かつ、手入れの行き届いた美しい芝生があるにも関わらず、多くの利用者で賑わっていない点。

2. 中芝利用の強み

大学周辺に住居や学校が多いことから、多様な年代の人々を関学に集めることができる。

3. ビジネスアイデアの趣旨 とその概要

日本食フェアのイベントを通して、関学生や留学生、さらに関学付近の地域の方々との交流を活性化することを目的としている。また日本食に対する新たな発見や日本食の良さを見直す機会になればと考えている。

概要としては、５月頃に地域の農家の方に協力をお願いし、関学生を中心に中芝の一部で田植えを行い、９月頃に収穫を行う。この時期にかけての活動では、単に稲を育てるだけでなく、関学生と地域の方々の共同作業により交流が生まれることも魅力的な点である。さらに９月以降に、収穫した米を最大限に利用して実施する“日本食フェア with 関学米”を中芝で開催する。この食フェアのイベントでは、関学生が主催者となり、他の関学生はもちろん、留学生や地域の方々に参加を呼びかける。食フェアの具体的な催し物としては、米を使った様々な日本食のブース出展や主催者と参加者（留学生や地域の子供からお年寄りの方まで）による、共同クッキングコーナーを考えている。また、栽培したお米を使った日本酒の製造を西宮酒造の方にお願いし、食だけでなく飲料も充実させた“日本食フェア with 関学米”を実施していく。

4. イベントの魅力

都会の大学生は農業に接する機会が少ないため、芝生の一角を田んぼにすることは、農業に親しんでもらうチャンスとなるであろう。さらにこのフェアによって、訪れた人が伝統的な日本食のよさを再認識するような機会となることも期待される。“日本食フェア with 関学米”というプロジェクトを通し、ただ芝生でくつろいだり楽しんだりする場だけでなく、地域交流もできる場として、芝生を有効活用することが出来るであろう。

※優秀作品はホームページ等に掲載します。

記載いただいた個人情報は「ＫＧビジネスプランコンテスト」および関連企画に関してのみ使用します

（提出先）研究推進社会連携機構ＫＧＢＰＣ事務局　kgbpc@kwansei.ac.jp

研究推進社会連携機構 15.5.29 長尾

ＫＧアイデアコンテスト（５月）応募用紙

もし、関学中央芝生を自由に使えるとしたら、

あなたならどんなプランを考えますか？

※中央芝生の活用方法をこの用紙を自由に使って図で記載してください。